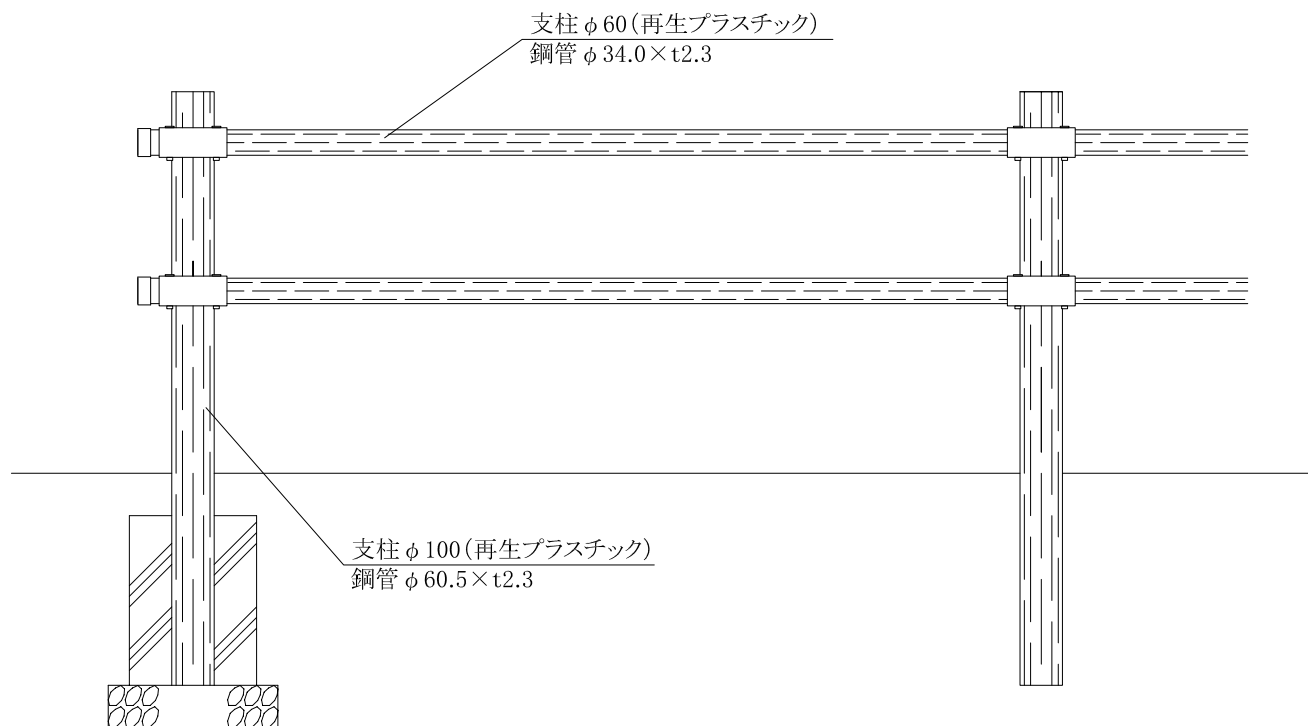
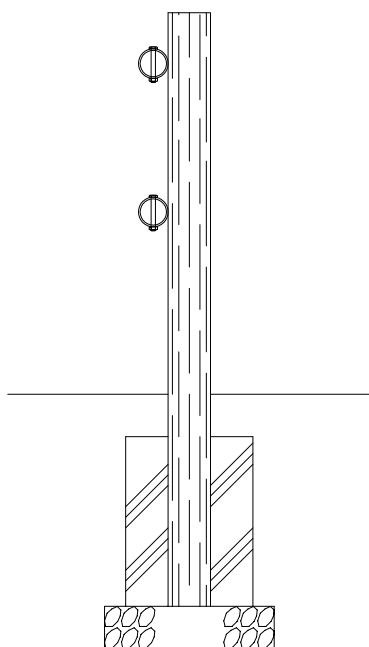
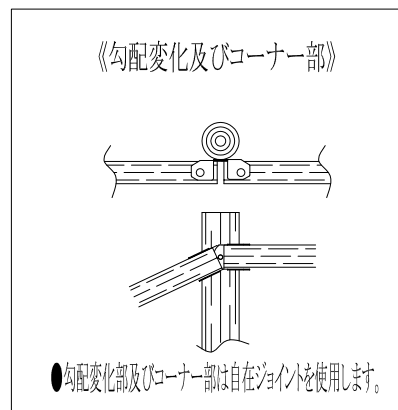


リサイクルプラスチック製擬木

プラウッドフロントビーム柵(基礎式) 施工要領

リス興業株式会社

〈プラウウド二段フロントビーム外柵構造図〉: 支柱間ピッチL=2000共通



〈組み立てにあたっての事前準備〉

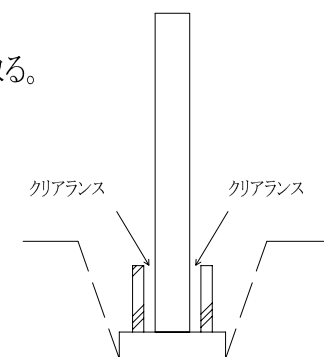
必要工具： ◎メジャー
◎水糸
◎M10・M12用ラチェットレンチ
◎水平器
◎勾配定規
◎樹脂ハンマーまたは木槌(かなづちの場合は当て板が必要)

加工等ある場合： ◎高速カッター
◎電動ドリル(φ14)

☆注意事項①

※横木のスパン長(L=2000)を十分確保出来得る長さで成形しておりますが、リサイクルプラスチックを原料としているため各横木の長さに多少の差異が生じることがあります。以上のことから、支柱設置における基礎部のクリアランスは十分取って下さい。

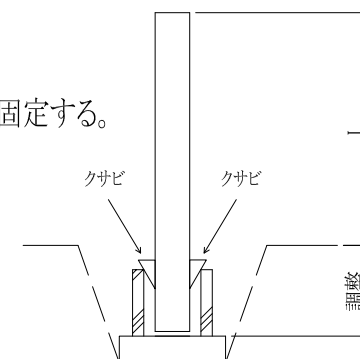
※支柱が左右に動くようにクリアランスを取る。



☆注意事項②

※支柱は呼称寸法の長さ(L)を十分確保出来得る長さで成形しておりますが、リサイクルプラスチックを原料としているため通常より約3%程度大きくしてあります。従ってカタログ等に記載されている呼称寸法の長さより実際は長くなっており、また各支柱の長さも多少の差異があります。以上のことから、基礎部を含めて支柱の根入れ長さを調整し、G. L上の高さをそろえて下さい。

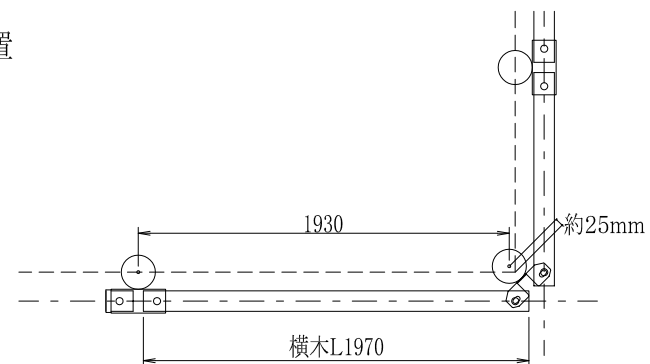
※根入れ長さでL寸法を調整する。
※垂直方向を正確に測った後、クサビ等で仮固定する。



〈平地・勾配支柱設置注意事項:端部・中間・外コーナー・内コーナー〉

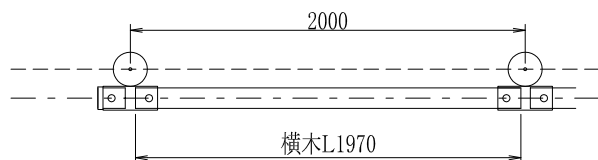
- 必要工具: ◎メジャー
◎水糸
◎水平器
◎勾配定規

外コーナー支柱設置



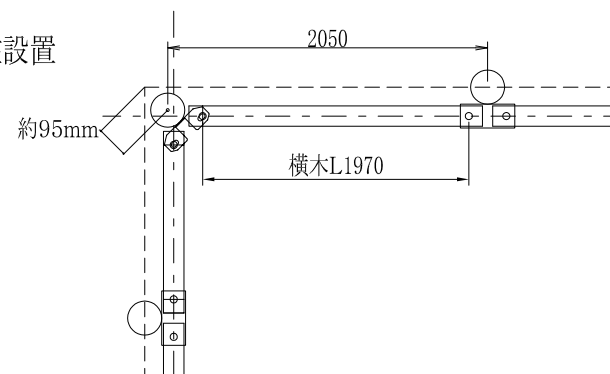
①外コーナー支柱の設置は支柱芯より約25mm外側に設置します。
支柱間はL1930で建込みをお願いします。

平地端部・中間支柱設置



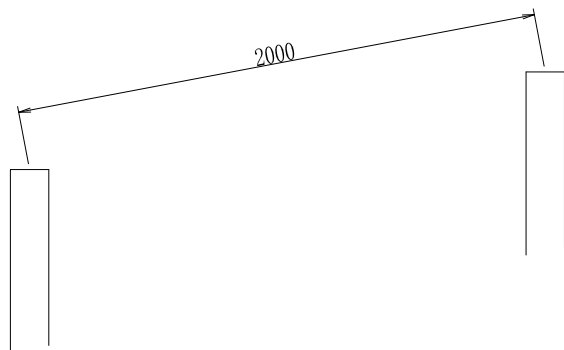
①端部・中間支柱の設置は支柱芯L2000で設置をお願いします。

内コーナー支柱設置



①内コーナー支柱の設置は支柱芯より約95mm内側に設置します。
支柱間はL2050で建込みをお願いします。

勾配端部・中間支柱設置



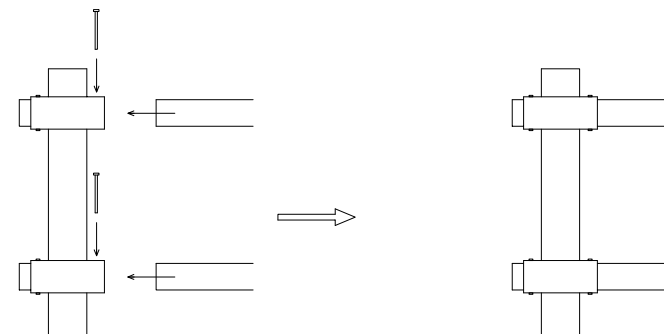
①端部・中間支柱の設置は支柱芯L2000で設置をお願いします。

☆注意事項

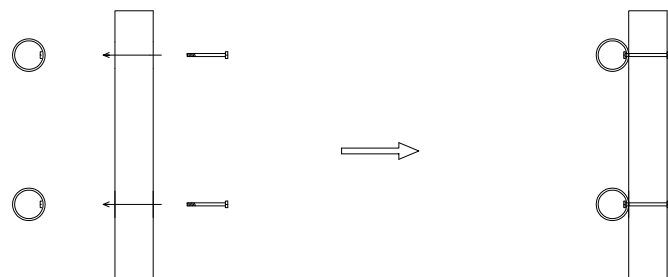
※支柱間ピッチL2000はあくまでも呼称ですので、コーナー箇所によっては該当しない場合がございます。(横木L1970は固定です。)

〈端部組み立て方法:平地・勾配共通〉

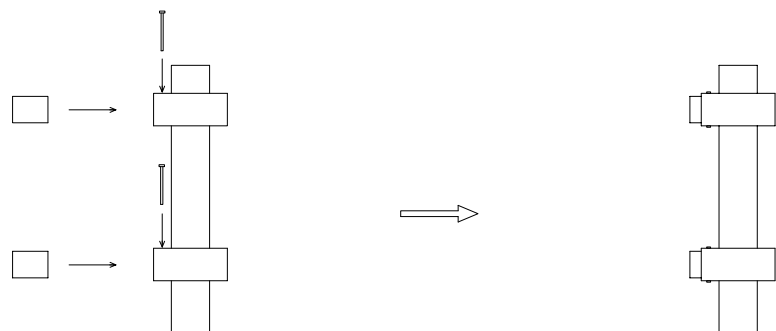
必要工具: ◎ボルト締めにはM10・12用のラチェットが必要です。



③ジョイント管に横木を差し込みます。
その後、ボルト締めを行います。



①支柱にジョイント管を差し込みます。
その後、ボルト締めを行います。



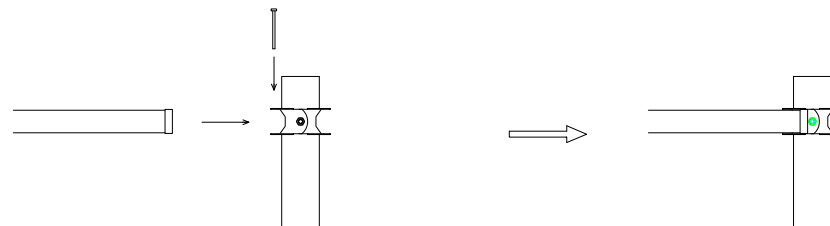
②ジョイント管に端木を差込みます。
その後、ボルト締めを行います。

☆注意事項

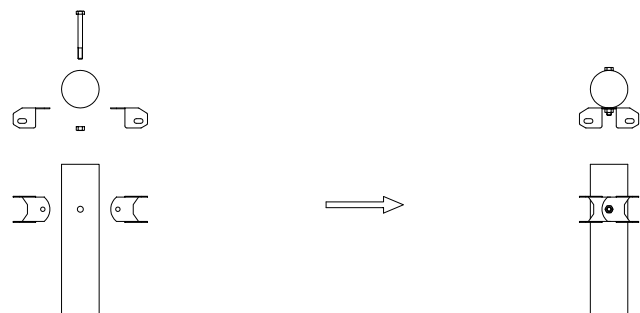
※支柱と横木のボルトは緩みが無いようにしっかりと締めて下さい。

〈自在ジョイント部組み立て方法:コーナー・変化点〉

必要工具: ◎ボルト締めにはM10・12用のラチェットが必要です。



③自在ジョイントに横木を差し込みます。
その後、ボルト締めを行います。



①支柱に自在ジョイントを取り付けます。
(2個/セット)



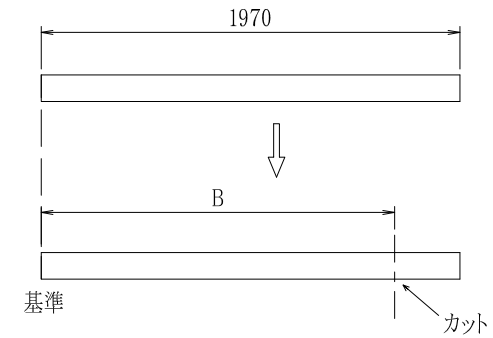
②横木にキャップをはめます。
※注意! 自在ジョイントの部分のみキャップを使用します。

☆注意事項

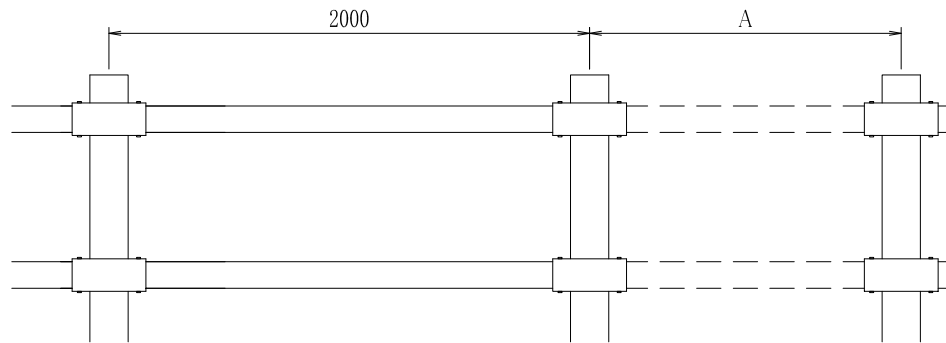
※支柱と横木のボルトは緩みが無いようにしっかりと締めて下さい。

〈短スパン横木加工方法:平地・勾配共通〉

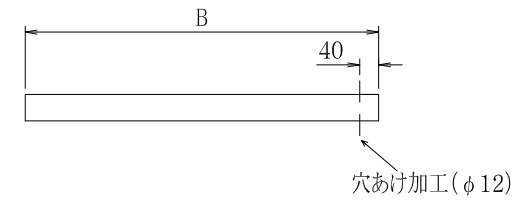
必要工具: ◎横木カット加工には電動カッターが必要です。
◎横木カット加工には電動ドリル(φ12用)が必要です。



③標準品の横木1970を片側を基準としてB寸法となるようにカットします。



①A部短スパン横木加工を行うにあたり、支柱の中心間で実測を行います。



④カット加工したものに貫通穴あけ加工(φ12)を行います。

②A部実測後、下記公式に当てはめて計算します。

A寸法:支柱間
B寸法:横木長
公式: A寸法 - 30mm = B寸法

※例として:A寸法を1200とすると、
:1200 - 30mm = 1170
:1170mmとなる。

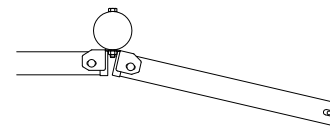
☆注意事項

※カットを行うにあたり、必ず現地実測の上、加工をしてください。

〈コーナー部組み立て方法:平地・勾配共通〉

必要工具: ◎ボルト締めにはM10・12用のラチェットが必要です。

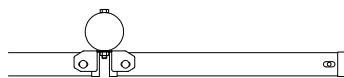
緩い内コーナー部(20° ~)



③反対側も同様にジョイント管に横木を差し込みます。
その後、ボルト締めを行います。



①自在金具にて支柱・金具・横木を固定します。



②横木を次の支柱に合う位置に力を加え、自在金具を曲げます。
③同工程を繰り返して柵を設置してください。

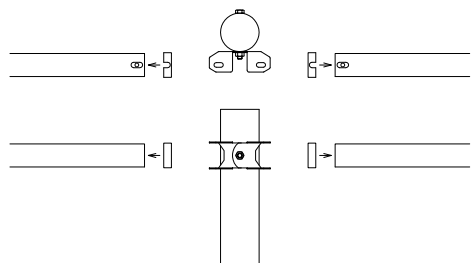
〈コーナー部組み立て方法:平地・勾配共通〉

必要工具: ㊟ボルト締めにはM10・12用のラチェットが必要です。

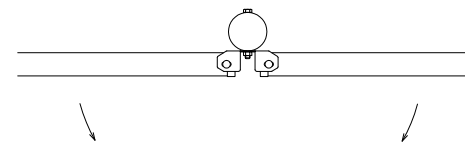
内コーナー部(20° ~)



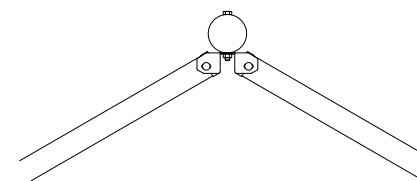
①コーナー部に設置する横木の端部を20mmカットし、端末キャップはボルトが干渉する部分をカッターで切り取ります。



②横木に端末キャップを付け、ボタンキャップボルトで固定します。



③指定の角度に合わせて固定します。



④続きを放置していきます。